

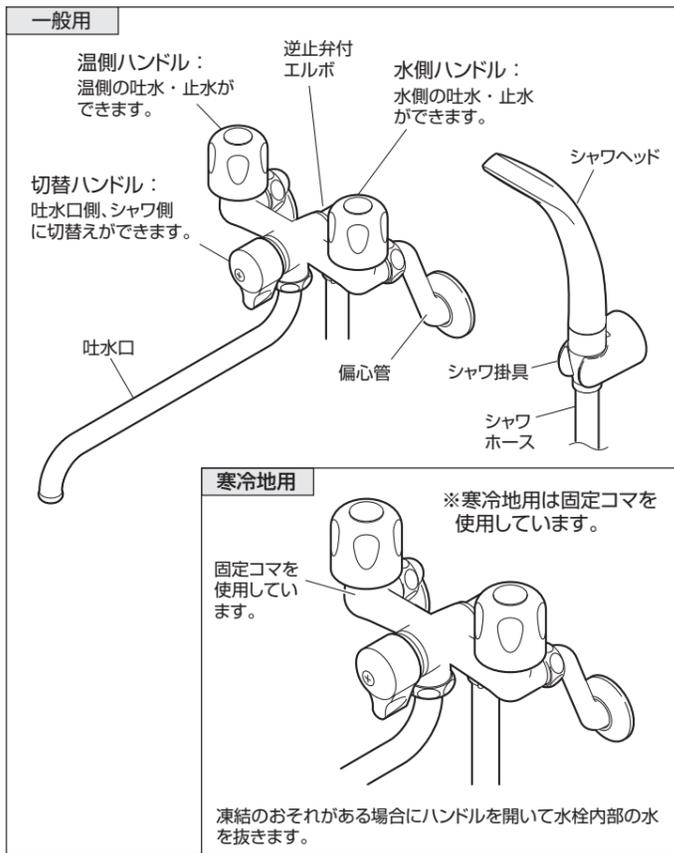
ツーバルブシャワー混合栓

.....SK11-F24HTA
(寒冷地用・SK11K-F24HTA)

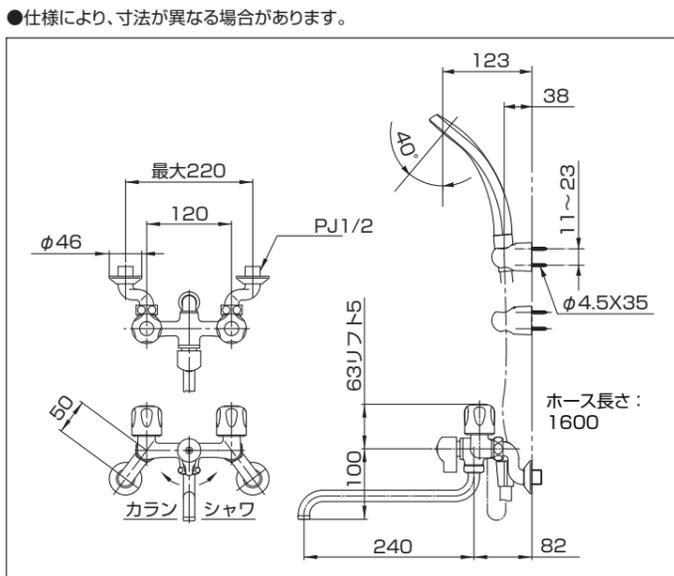
施工説明書

- 施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

本製品について 各部の名称



本製品について 寸法図



施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

- 注意**「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- ⚠「注意下さい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
- 🚫「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
- 🔧「分解してはいけません！」
- 📢「指示通りにしないで！」(一般的な行動指示記号です。)

注意

- 🚫 修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 湯水を逆に配管しないでください。正常に作動しないため、やけどをする事があります。なお、逆配管の場合は逆配管アダプター(別売)を使用する事で、逆配管でも表示通りに湯水を使用する事ができます。
- 🚫 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 📢 (寒冷地用の場合)凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について 適切な使用条件

(水圧について)

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

(給湯機について)

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42~60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数(能力)が必要です。四季を通じて快適なシャワを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 自動お湯はりなど一時止水機構を持った給湯設備を水栓の湯側配管に接続して使用した場合、自動お湯はりが終わっても水が若干出る事があります。これは、水栓の破損防止機構が働いているためです。このような場合は水栓のハンドル側で水を止めてください。

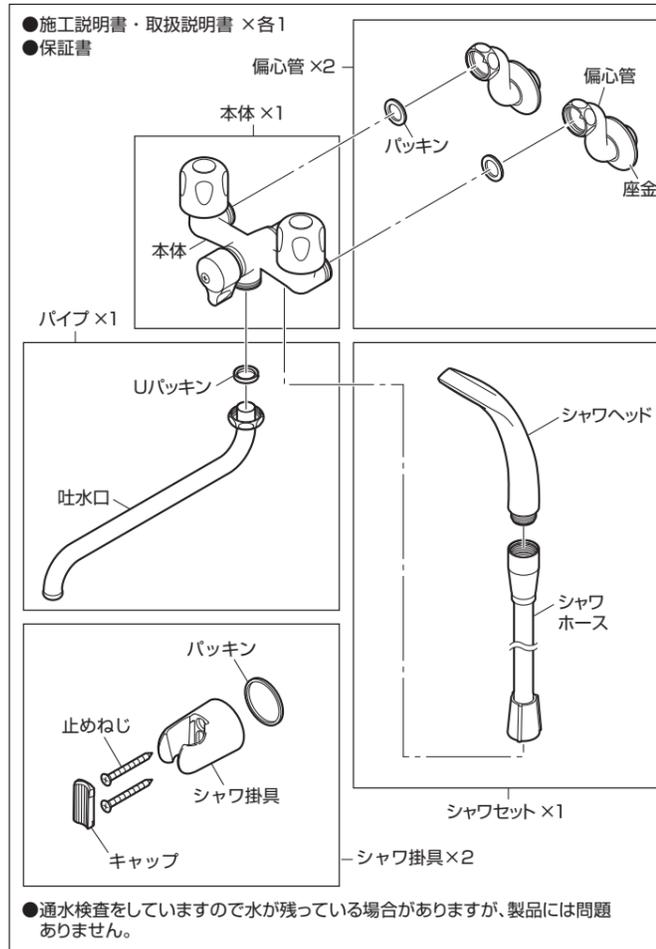
(水質・用途について)

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細



施工について 施工手順

主な工具類

- シールテープ：水栓の偏心管を配管に取付ける際に必要です。
SAN-EI品番：PP75-1S (シールテープ)
- 使い古しのハブラシなど：配管掃除ができるもの。
- タオルなど：ケガ防止や水栓保護のために使用します。
- 六角レンチ：配管中のザルボがはずれた場合に必要の工具。
SAN-EI品番：PR35 (六角スパナ) 対辺12mm
- スパナ・モンキーレンチなど：水栓のナットがまわせる工具。
SAN-EI品番：PR3351 (水栓スパナ)
- 手袋：ケガ防止のために着用してください。
- ぞうきんなど：配管中の残り水を拭くのに使用します。
- プライヤー：配管中のザルボがはずれた場合に必要の工具。
SAN-EI品番：PR346-1S (水栓プライヤー)
- 電動ドリル
- プラスドライバー

A 古い水栓の取りはずし

※新設の場合は裏面Bに進んでください。

1 元栓を閉めて、水を止めます。

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。
※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左まわしの場合があります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの元栓ボックス：
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式
止水栓キー SAN-EI品番：PR30A (止水栓キー)

●ハンドル式
水道メーター(量水器)

■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：
主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

水道メーター(量水器)

2 古い水栓本体をはずします。

偏心管のナットを交互に少しずつゆるめて取りはずします。偏心管側にナットが付いている場合は右、本体側にナットが付いている場合は左にまわします。

アドバイス

- この時、片方のナットだけまわすとまわすれませんが、交互に少しずつゆるめて取りはずしてください。
- 残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

注意

- ねじで手を切る場合があります。ご注意ください。
- 湯側の偏心管の残り湯にご注意ください。

●偏心管側にナットが付いている場合
●本体側にナットが付いている場合

ナット
ゆるむ
偏心管
本体
シャワヘッド
シャワホース
モンキーレンチなど

3 古い偏心管をはずします。

偏心管をタオルなどであてがい、湯側、水側ともに手で左にまわしてはずします。手でまわしてもはずれない場合はモンキーレンチなど工具をします。モンキーレンチなどが滑らないようにしっかりと偏心管にはさんでまわしてください。

注意

- 偏心管の付け根がぐらついていたり、まわそうとすると反発を感じる場合は配管がきちんと固定されていない可能性があります。注意しながらまわしてください。配管が割れそうな場合は無理にまわそうとせずに、偏心管をはずさず取付ける事ができる取替用混合栓をお買い求めください。
- ねじで手を切る場合があります。ご注意ください。
- 湯側の配管の残り湯にご注意ください。

アドバイス

- 残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

●手でまわしてもはずれない場合

ザルボ ※ザルボが付いていない場合もあります。
湯側
水側
水道配管
偏心管
モンキーレンチなど
タオルなど

■配管中のザルボがはずれた場合
配管中にはザルボ(商品には含まれていません。)が付いている場合があります。もし、ザルボがはずれた場合は次の要領で取付けてください。
(1) ザルボをプライヤーなどではさみ、偏心管からはずします。
プライヤーなど SAN-EI品番：PR346-1S (水栓プライヤー)

(2) ギャロのねじ部を掃除します。



(3) 手でしっかりとギャロを握り、シールテープをねじに向かって右向きに、5回程度少し引っ張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。

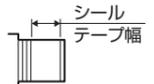


注意

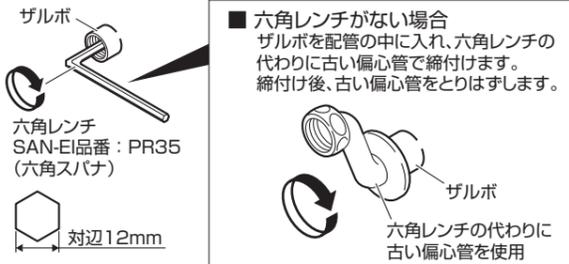
シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

アドバイス

シールテープをねじ全体に巻く必要はありません。シールテープ幅に合わせて巻付けてください。



(4) ギャロを配管の中に入れ、六角レンチで締付けます。



注意

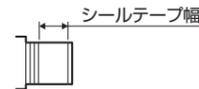
ギャロの取付けは慎重に進めてください。壁の中にあるため、もしもの漏水の確認が困難です。

6 偏心管にシールテープを巻きます。

ねじに向かって右向きに、10回程度少し引っ張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。

アドバイス

シールテープをねじ全体に巻く必要はありません。シールテープ幅に合わせて巻付けてください。



注意

シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

7 偏心管を仮固定します。

偏心管をタオルなどであてがい、湯側・水側ともに右にまわして入れます。手順5で確認した偏心管の少ない方の回転数より1回転少ない位置まで、湯側・水側ともにまわして止めておきます。

注意

漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は、手順6をもう一度はじめてください。

アドバイス

上記のように偏心管を少し手前で止めておくことで、ねじ込みすぎを防止します。

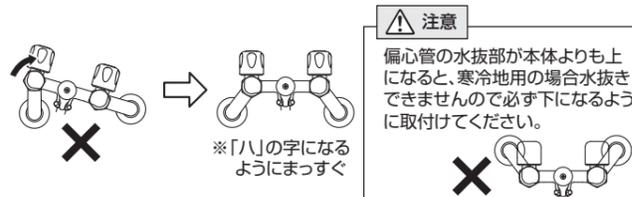


8 水栓本体を取付けます。

(1) 水栓本体と偏心管の間に、パッキンが入っている事を確認し、水栓本体がまっすぐになるように偏心管を調節しながら手でナットを締付けていきます。

注意

●漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は、手順6をもう一度はじめてください。
●水栓本体は重いので落下などに注意して取付けてください。



注意

偏心管の水抜き部が本体よりも上になると、寒冷地用の場合水抜きできませんので必ず下になるように取付けてください。

B 新しい水栓の取付け

4 配管内の掃除をします。

注意

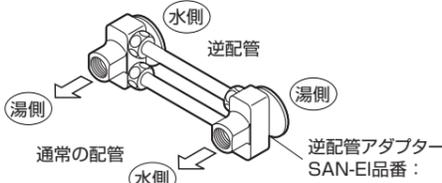
配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。(元栓の開閉は手順1を参照してください。) ハブラシなど水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、この場合には有償修理となります。

逆配管の場合

通常の配管は向かって左側が湯、右側が水ですが、逆配管は向かって左側が水、右側が湯になっています。このような場合は水を出そうとしても湯が出て、やけどをすることがあります。下記の方法を行って、逆配管でも使用できるようにしてください。

逆配管アダプター(別売)による対応

逆配管アダプターを使用する事によって、逆配管を通常の配管にします。

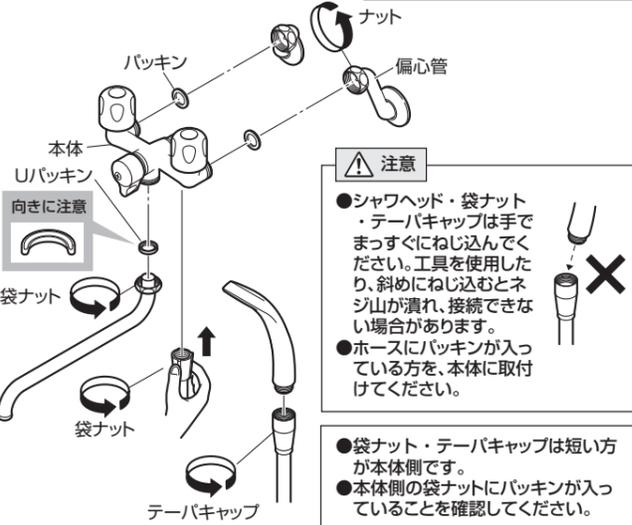
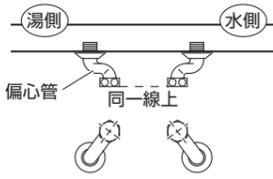
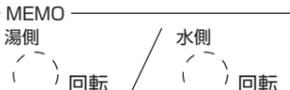


5 偏心管の取付回転を確認します。

偏心管を湯側・水側に分けて配管に取付け、何回転で止まるか回数を確認します。

アドバイス

取付回転数は後で偏心管を仮固定する際の目安にします。



注意

●シャワーヘッド・袋ナット・テーパキャップは手でまっすぐにねじ込んでください。工具を使用したリ、斜めにねじ込むとネジ山が潰れ、接続できない場合があります。
●ホースにパッキンが入っている方を、本体に取付けてください。

●袋ナット・テーパキャップは短い方が本体側です。
●本体側の袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。

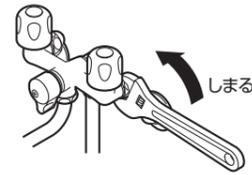
注意

シャワーホースは偏心管の下から取出してください。寒冷地用の場合は偏心管の上から取り出すと水抜きができなくなります。

(2) モンキーレンチなどでナットをしっかりと締付け、水栓を偏心管に固定します。

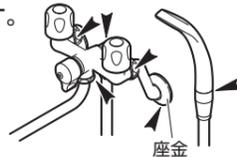
注意

緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。



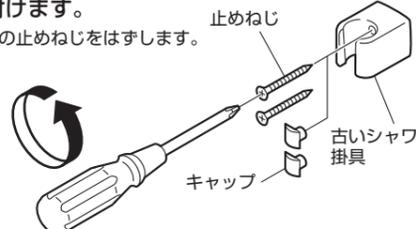
9 元栓を開いて水漏れをチェックします。

接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめてやり直してください。最後に座金を壁面に締付けて完了です。



10 シャワ掛具を取付けます。

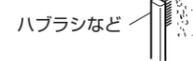
(1) 古いシャワ掛具の止めねじをはずします。



注意

止めねじがない場合や止めねじをはずしてもシャワ掛具がはずれない場合は、接着剤などで固定している可能性があります。無理にはずそうとしないで、そのままお使いください。

(2) 穴を掃除します。



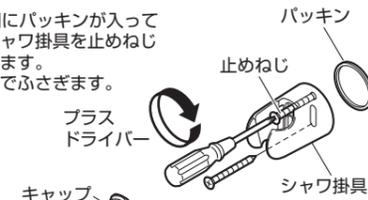
新設の場合

- ① シャワ掛具の位置を決め、ねじ取付位置に印を付けます。
- ② 印を付けた位置に電動ドリルなどで穴を開けます。(コンクリートやタイル張りの場合は、超硬ドリルを使用します。)
- ③ 電動ドリルなどで開けた穴にアンカープラグを差し込みます。



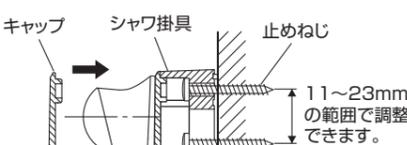
アンカープラグ(市販) 当社の止めねじ4.5X45に対応するアンカープラグを使用してください。

(3) シャワ掛具と壁の間にパッキンが入っている事を確認し、シャワ掛具を止めねじでしっかりと固定します。最後に穴をキャップでふさぎます。



注意

シャワ掛具の向きに注意してください。止めねじ穴の長い方が下です。



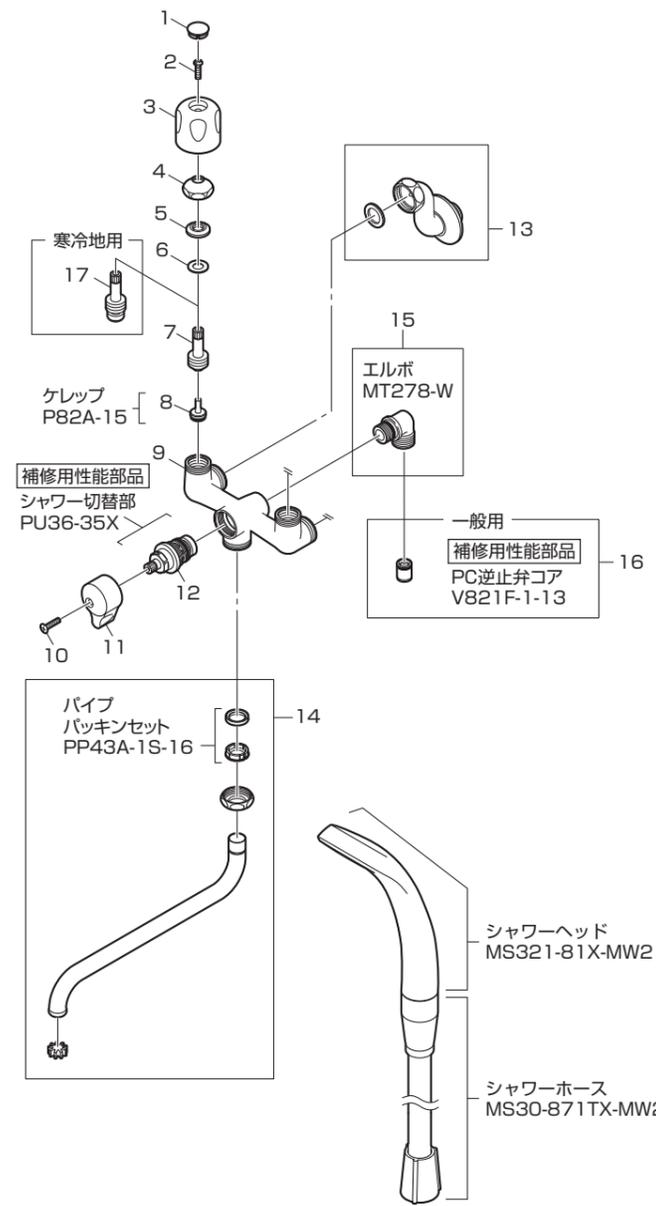
1 キャップの突起をシャワ掛具の穴に入れます。

2 キャップの下側を押します。



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



SK11-F24HTA

一般用
1. キャップ
2. なべ小ねじ
3. ハンドル
4. パッキン押え
5. 三角パッキン
6. パッキン受
7. スピンドル
8. ケレップ
9. 脚
10. レバー止めビス
11. 切替ハンドル
12. シャワー切替部
13. 偏心管
14. 自在パイプ
15. エルボ
16. 逆止弁

SK11K-F24HTA

寒冷地用
17. 固定スピンドル

株式会社 三栄水栓製作所

本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661
東京 ☎(03)3683-7496
フリーダイヤル ☎0120-06-9721

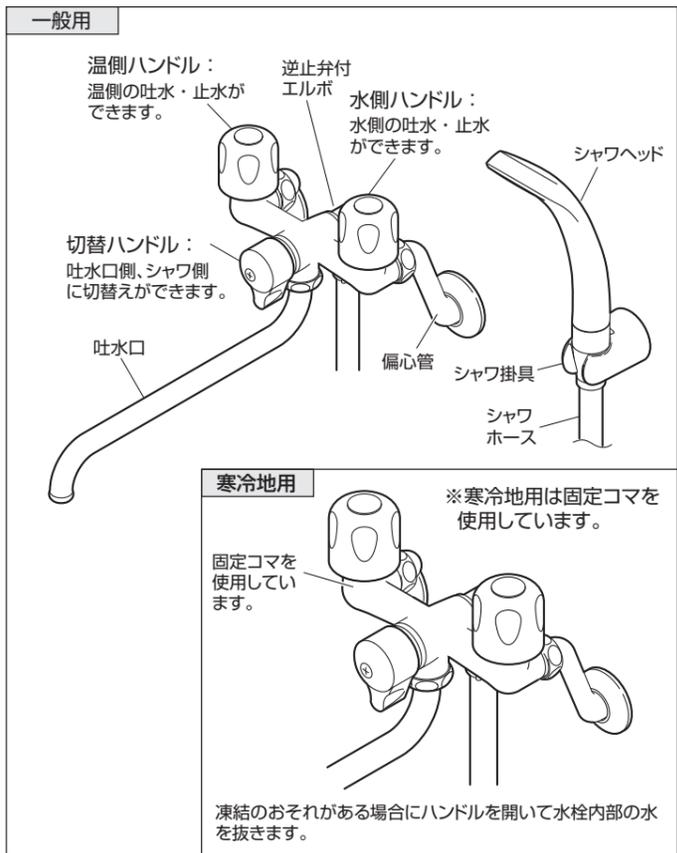
ツーバルブシャワー混合栓

.....SK11-F24HTA
(寒冷地用・SK11K-F24HTA)

取扱説明書

- ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について 各部の名称



ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 警告**「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意**「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- ⚠「注意しない！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
 - 🚫「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
 - 🔧「分解してはいけません！」
 - 🚫「指示した場所に触れてはいけません！」
 - 🗣️「指示通りにしない！」(一般的な行動指示記号です。)

警告

🚫 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・けがをするおそれがあります。

注意

❗ 使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。

🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。

🔧 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❗ 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

🚫 ●水栓の左側には直接肌を触れないでください。給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。
●高温の湯をお使いのときは、吐水口に直接肌を触れないでください。吐水口は高温になっているのでやけどをするおそれがあります。

❗ (給湯器の設定温度について) 給湯温度は最高85℃まででお使いください。85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。

🚫 シャワには高温の湯(60℃以上)を通さないでください。給湯温度が60℃以上の場合、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。シャワーヘッドが破損して、やけどをするおそれがあります。安全のため、適温でのご使用をおすすめします。

❗ 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

❗ 定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❗ ハンドルは、ゆっくり回してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❗ 日頃から、ときどき吐水口を回してください。吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れの原因になります。

❗ 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。

🚫 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。

❗ シャワをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

❗ お使いになる前に、吐水口側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。間違えると、やけどをするおそれがあります。

❗ シャワ使用後は、切替ハンドルを必ず吐水口側に切替えてください。切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出すと、やけどをするおそれがあります。

🚫 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

❗ (寒冷地用の場合) 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

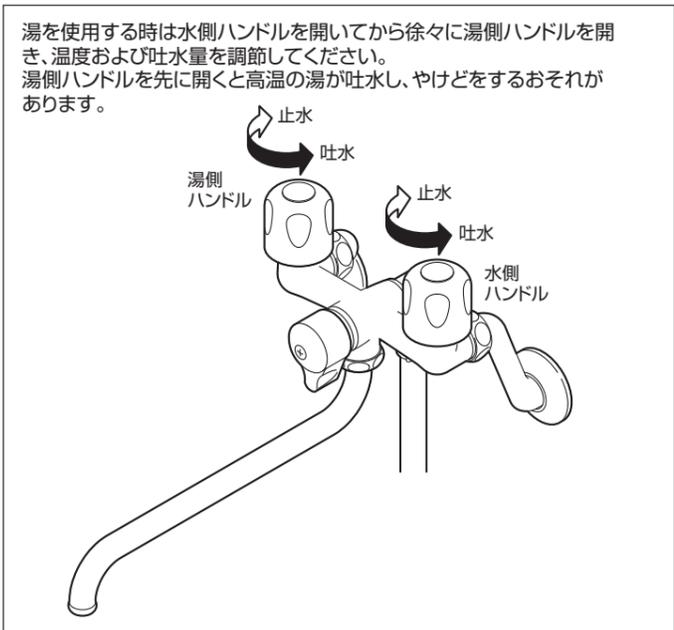
🚫 シャワーホースやシャワーヘッドを洗面器などに浸けたまま放置しないでください。汚水が器具に逆流するおそれがあります。

❗ 本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
使用してはいけないもの
●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
●ナイロンたわし・メラミンフォームなど
本体の割れや変色変質の原因となります。

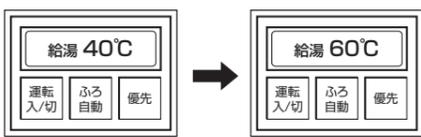
❗ 洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。

❗ 長期間使用しない時は、配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。

ご使用について 吐水・止水・温度調節



高温の湯が出ないときは？
湯側ハンドルをまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側の湯側ハンドルをまわしてください。



注意
高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとハンドルで適温に戻してしばらく水を流してください。

(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓側のハンドルを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。

🔥 着火

ご使用について シャワー側への切替え

切替ハンドルを右へまわす → 吐水口側
切替ハンドルを左へまわす → シャワー側

注意

- 切替ハンドルは全開でご使用ください。
- 流量を調節する場合は、ハンドル側で調節してください。

注意
止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。いつもポタポタ出ているのはハンドルの閉め方がゆるいか水栓の一時止水切替ユニットが故障しているかのどちらかです。しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば閉め方、摩耗や故障ではありません。シャワーヘッド内の水はシャワー散水板の表面張力により滞留しています。振動や浴室ドアの開け閉めによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出る場合があります。

※残留水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振ってください。

凍結予防について 一般用の場合

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）
- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

凍結予防について 寒冷地用の場合(水抜方法)

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備(水抜栓)とあわせて使用する製品です。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜栓を開けます。
- 2 湯側・水側ハンドルをいっぱいに開きます。
- 3 切替ハンドルを吐水口側へまわします。
- 4 切替ハンドルをシャワー側へまわします。
- 5 シャワーヘッドを器具より下にさげ、シャワーヘッドとホースを振って水を抜き、床に置きます。

再使用时
湯側・水側ハンドルを閉めて配管の水抜栓を閉め、元栓を開けます。

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についての汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかな布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかな布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど



洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すくきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。



日頃のお手入れ シャワヘッドの掃除

シャワヘッドをテーパキャップからはし、シャワ板の掃除をしてください。



注意

- シャワ板の目詰まりにより、散水不良が発生してきた場合は、器具の破損につながります。
- 掃除をしても改善されない場合は部品のお取替えも検討して頂くようお願いいたします。(この場合は有償修理となります。)

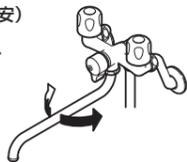
定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水があが固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。吐水口の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき吐水口を回してください。(月1回を目安)

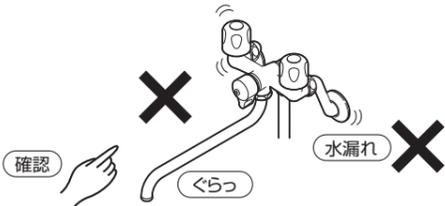
吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。

吐水口が回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。



定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



漏水を確認した場合は、配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」を参照してください。

こんなときは 故障? その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	ゴミづまりはありませんか。	吐水口の掃除をする。
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・動作を確認する。
温度調節がうまくできない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・動作を確認する。
	ゴミづまりはありませんか。	吐水口の掃除をする。

以上の点検を実施されても、不具合がなくなるらない場合はお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

- 修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
湯側・水側のハンドルを閉しても水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。
シャワホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワホースを交換してください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、配管中の元栓を閉めてください。

元栓の閉め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。

- ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
- ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
- ※一部の地域では左まわしの場合があります。
- ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

戸建て住宅などの元栓ボックス:

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式



止水栓キー
SAN-EI品番:
PR30A
(止水栓キー)

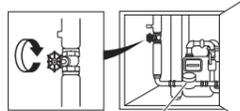
●ハンドル式



水道メーター(量水器)

マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス:

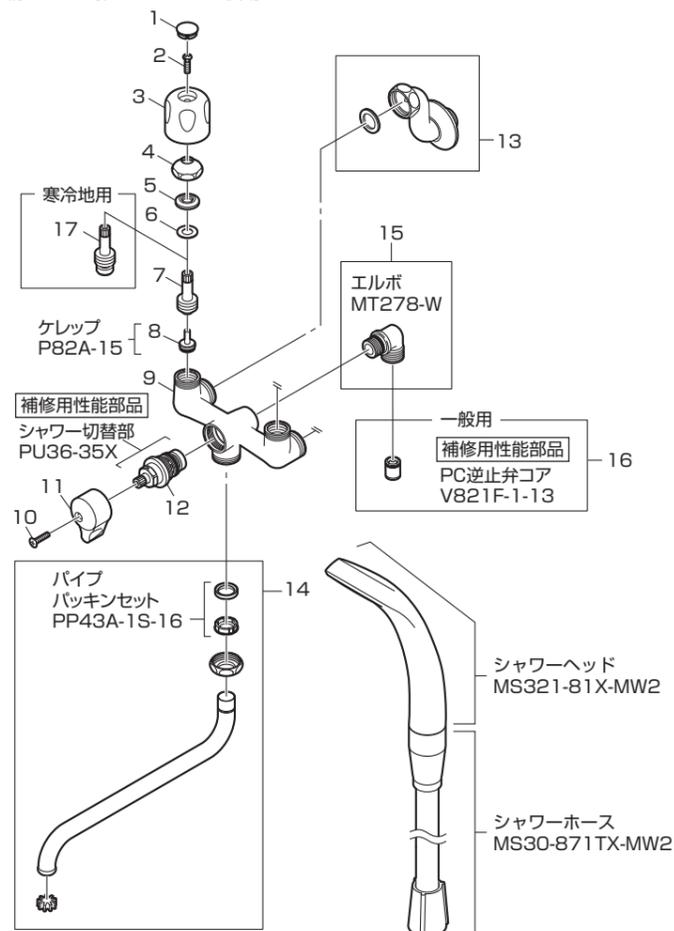
主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



水道メーター(量水器)

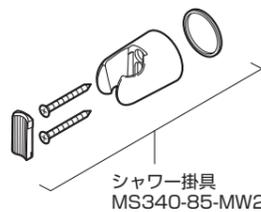
こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



SK11-F24HTA

一 般 用
1. キャップ
2. なべ小ねじ
3. ハンドル
4. パッキン押え
5. 三角パッキン
6. パッキン受
7. スピンドル
8. ケラップ
9. 胴
10. レバー止めビス
11. 切替ハンドル
12. シャワー切替部
13. 備心管
14. 自在パイプ
15. エルボ
16. 逆止弁



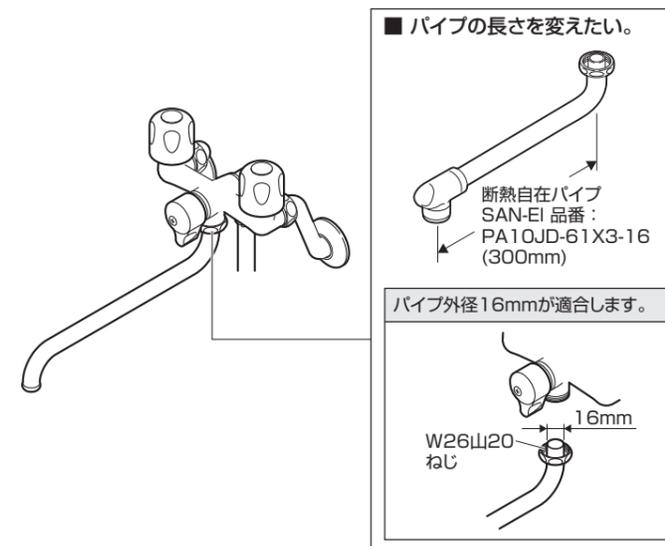
シャワー掛具
MS340-85-MW2

SK11K-F24HTA

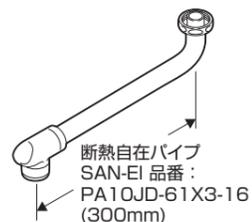
寒 冷 地 用
17. 固定スピンドル

こんなときは オプション品について

SAN-EIでは、水まわりを快適にサポートできるようにオプション品や補修パーツをホームセンターなどでとりそろえております。(品質改良、原材料事情などにより、品番、仕様などの変更、および製造中止を予告なくさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。)

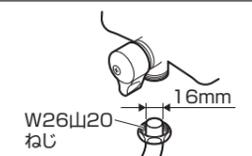


■パイプの長さを変えたい。

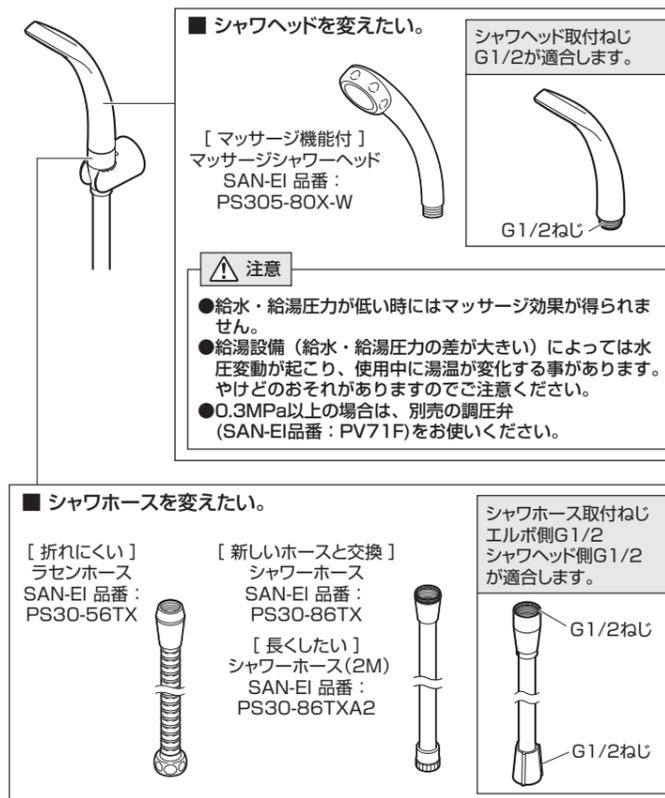


断熱自在パイプ
SAN-EI 品番:
PA10JD-61X3-16
(300mm)

パイプ外径16mmが適合します。



W26山20
ねじ



■シャワヘッドを変えたい。

[マッサージ機能付]
マッサージシャワヘッド
SAN-EI 品番:
PS305-80X-W

シャワヘッド取付ねじ
G1/2が適合します。



G1/2ねじ

注意

- 給水・給湯圧力が低い時にはマッサージ効果が得られません。
- 給湯設備(給水・給湯圧力の差が大きい)によっては水圧変動が起こり、使用中に湯温が変化する事があります。やけどのおそれがありますのでご注意ください。
- 0.3MPa以上の場合は、別売の調圧弁(SAN-EI品番: PV71F)をお使いください。

■シャワホースを変えたい。

[折れにくい]
ラセンホース
SAN-EI 品番:
PS30-56TX

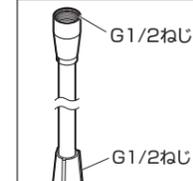


[新しいホースと交換]
シャワホース
SAN-EI 品番:
PS30-86TX



[長くしたい]
シャワホース(2M)
SAN-EI 品番:
PS30-86TXA2

シャワホース取付ねじ
エルボ側G1/2
シャワヘッド側G1/2
が適合します。



G1/2ねじ

保証とアフターサービス

【保証について】

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

【水栓の定期的な点検・部品交換について】

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
お客様による日常のお手入れ・点検											買替え ご検討
摩 耗 劣 化 部 品 の 交 換											

方法については、「日頃のお手入れ」・「定期的な点検」を参照してください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
摩耗劣化部品の例
シングルカートリッジ(バルブ開閉ユニット)・逆止弁(逆流防止弁)・レバー(ハンドル)・網(ストレーナ)・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。部品の詳細については「本製品の構造」を参照してください。

【補修性能部品の供給期間】

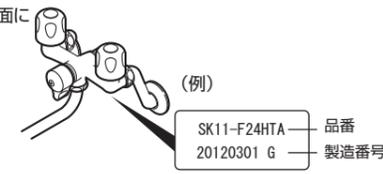
この製品の補修性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

【修理の依頼と部品交換の依頼について】

- 修理依頼と部品交換依頼先: お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容:
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
 - 訪問希望日

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。
「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには水栓の右側裏面に貼付のシールをご確認ください。



(例)
SK11-F24HTA 品番
20120301 G 製造番号

【部品のご購入や修理の依頼、ご相談は】

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

本社
〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お客様相談室 大阪 ☎(06)6976-8661
株式会社 三栄水栓製作所 東京 ☎(03)3683-7496
フリーダイヤル ☎0120-06-9721

東京支店	☎(03)3683-7471	横浜営業所	☎(045)929-0331
名古屋支店	☎(052)800-8688	静岡営業所	☎(054)236-1115
大阪支店	☎(06)6972-6981	金沢営業所	☎(076)268-7751
札幌営業所	☎(011)782-5353	京都営業所	☎(075)605-5761
盛岡営業所	☎(019)605-7301	神戸営業所	☎(078)843-9231
仙台営業所	☎(022)258-6251	広島営業所	☎(082)922-3631
郡山営業所	☎(024)931-1377	松山営業所	☎(089)905-7866
新潟営業所	☎(025)281-1291	福岡営業所	☎(092)674-1230
東京西営業所	☎(042)582-7141	熊本営業所	☎(096)385-7161
さいたま営業所	☎(048)625-4741	沖縄営業所	☎(098)869-0890

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>